



長崎開港 450 周年

SINCE 1571

市民セミナリヨ 2021 No. 1

50 年ごとに振り返る長崎

2021 年に長崎開港 450 周年を迎えるに当たり、長崎の歴史を 50 年ごとに振り返ってみると、長崎が辿った大まかな歴史が見えてきます。その時代に名前をつけ、大きな出来事を拾ってみました。もう少し詳しく見ていきましょう。

- 50 年前(昭和 46/1971 年)＝水不足時代(神浦ダムから取水開始)
- 100 年前(大正 10/1921 年)＝造船時代(三菱造船の職工数 18,515 人を記録)
- 150 年前(明治 4/1871 年)＝近代化先行時代(新たに長崎県制度、宮川房之長崎県権令に)
- 200 年前(文政 4/1821 年)＝貿易時代(秋帆の父高島茂紀、立山御役所石火矢台御用)
- 250 年前(明和 8/1771 年)＝貿易時代(蘭通詞の本木栄之進「阿蘭陀本草」を著す)
- 300 年前(享保 6/1721 年)＝水害時代(享保の大水害で死者 46 人)
- 350 年前(寛文 11/1671 年)＝牛込時代(崇福寺の即非没、名奉行牛込忠左衛門登場)
- 400 年前(元和 7/1621 年)＝寺院建立時代(長崎領主の長崎甚左衛門純景が没)

◆日時 : 2021 年 **4 月 3 日(土)** **13:30~14:30**

◆会場 : **浦上キリシタン資料館コミュニティースペース**
長崎市平和町 1 1-1 9 TEL:095-807-5646

◆講演 : **宮川 雅一**(長崎近代化遺産研究会会長)



昭和 9 年(1934)長崎市の老舗の酒類・食料品店に生まれる。勝山国民学校・新制長崎中学校・長崎東高等学校卒。昭和 32 年(1957)東大法学部卒業後、自治庁(現・総務省)に入る。以来、自治省(現・総務省)・大蔵省(現・財務省)・公営企業金融公庫(現・地方公共団体金融機構)・福岡・滋賀・愛媛・香川各県庁に勤務。昭和 54 年(1979)(財)日本都市センター研究室長から長崎市助役に就任。昭和 61 年(1986)助役を退職し、長崎都市経営研究所を設立。現在、長崎史談会会長を経て同顧問、長崎釈尊鑽仰会会長、長崎近代化遺産研究会会長、唐寺研究会代表幹事、長崎聖福寺修復協力会世話人代表、長崎ちびっ子くんち実行委員会会長、出雲大社長崎分院・松森天満宮・伊勢宮の各責任役員など。著書に「長崎散策(歌碑・句碑めぐり)」シリーズ、「宮川雅一の郷土史 岡目八目」「高島秋帆」ほか。

◆参加費 : 500 円 ◆定員 : 新型コロナウイルス対策のため 20 名で〆切

◆お申し込み : 浦上キリシタン資料館 TEL : 095-807-5646

※お名前とご連絡先をご連絡ください。

◆企画・問い合わせ : **NPO 法人 Aジェンダ NOVA ながさき**

～長崎の文化を考える会～ <http://feature.jp/agenda>

代表 林田慎一郎 090-7923-7435 linden@ae.wakwak.com